

事業所名		Weatherhelm 北山田				支援プログラム（児童発達支援）				作成日		2026 年		10 月		1 日											
法人（事業所）理念		今を生きる子どもたちも、いつかは大人になり、『自立』する時が訪れる。 療育によって子どもたちの能力を引き出し、未来への可能性を広げ、社会から孤立することなく「幸せ」を感じることのできる子どもたちの育成を目指す。 子どもたちの気持ちを汲み取りながら、粘り強い支援を行う。																									
支援方針		1. 【 3つの柱 】 発達支援・家族支援・地域支援の3つの柱に基づいて支援方針を定める。 2. 【 心と身体を育み、安心して過ごせる場所の提供 】 遊びは最大の刺激であり成長の糧となる。心身ともに解放でき、ストレスや葛藤を調整克服していける環境づくりを目指す。 適切なトレーニングを取り入れた遊びや学習、作業による発達支援を行うことで、自立や社会順応性を高める。 3. 【 一人ひとりの個性と長所を伸ばすための療育の実施 】 子どもたちが『楽しむ』ことを大切にする。 個性を押さえつけることなく、個々の特性や長所を伸ばしながら様々な経験を積むことによって、自立する力や社会に順応する力を養う。 4. 【 生きる力を育む支援 】 子どもたちがやがて社会へ参加する際に、身につけておかなければならない規範やコミュニケーション能力の育成を視野に入れた支援を行う。																									
サービス提供時間		平日 土曜日				10 10		時		00 00		分から		15 13		時		30 30		分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容																									
本人支援	健康・生活	日常生活における自立を図ることを目指す。 ・日常生活動作：着替え、手洗い、食事の基本的な動作を習得するためのサポートを行う。 ・スケジュール管理：日々のスケジュールを視覚支援ツール等を用いて自己管理を促進する。																									
	運動・感覚	感覚統合療法を主軸に基礎感覚の向上をはかる。 ・必要な刺激を与え、不要な刺激を減らし、一人ひとりの特性に合わせた個性の伸長をはかる。 ・楽しく運動しながら体幹を鍛えられるよう適宜称賛しながら、スモールステップで支援していく。																									
	認知・行動	認知力を強化し、適切な行動を学ぶことで日常生活での適応力を高める。 ・集中力向上：記憶力を高めるためのパズルや記憶ゲーム、計算問題など認知的なチャレンジを提供する。 ・行動ルールの学習：シミュレーションゲームやロールプレイを通じて社会的ルール（公共の場でのマナーや学校でのルール等）を学び日常生活での適切な行動を身につける。 ・視覚的ガイドの利用：行動の手順を視覚的にわかりやすく示すことで、混乱や迷いを減らし、見通しをつけたり集中力を維持する。																									
	言語 コミュニケーション	口元を動かす発声練習だけでは、ことばの発達に効果的とは言えない。また、会話のパターン練習のみでは、自分のことばでの意思疎通には至らない。 ことばの発信力を引き出すために、タッチング（感覚過敏の軽減）、眼球運動など、身体に刺激を入れるアプローチによって、ボディイメージを形成していく。																									
	人間関係 社会性	他者との関係を築き、社会的な場での行動を学ぶことで、社会性を向上させる。 ・感情理解のロールプレイ：日常的なシチュエーションを再現し、他者の気持ちを理解し、適切に対応するスキルを習得する。また、相手の感情を読み取り、自分の感情を適切に表現する練習を行う。 ・地域活動への参加：地域交流できるイベントを積極的に開催する。また、地域のイベントや交流会にも参加して、社会的な場でのルールやマナーを学び社会性の発達を促す。																									
家族支援		・定期的な面談、電話、連絡ツール等を通じて、お子様の進捗状況を共有し、ご家庭での支援方法のアドバイスを行う。 ・日常での困りごと相談や 児童の成長にともなう支援の方法をおひとりで抱えない相談支援を行う。 ・ご家族に必要なレスパイトケア（休息）としての役割を担う。 ・子育てを発達支援の専門家とご家族が共有することで、ご家庭でのストレスをなくすことを目的に取り組む。								移行支援				・保護者への情報提供や移行先での環境調整を行う。 ・移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達を行う。 ・併行通園の場合は、利用日数や時間、送迎手段等の調整を行い、情報の共有を行う。 ・発達のアセスメントを行い、定型発達の集団活動の方が発達保障できると判断した場合には、保護者にも積極的に移行を相談している。													
地域支援・地域連携		地域交流できるイベントの開催や、地域主催のイベントや行事に参加して、地域社会との交流を深める。								職員の質の向上				・定期的な研修受講とスキルアッププログラムの導入。 ・現場での実践とフィードバック。 ・外部専門家による助言や指導。													
主な行事等		・公園外出・クリスマス会・夏祭り・おやつ作り・ハロウィン・広場運動・誕生日会など多数実施予定。																									